

平成28年度 宝塚市自立支援協議会 第1回 全体会 議事概要報告

日 時：平成28年（2016年）11月8日（火） 午後1時30分～午後4時

場 所：宝塚市役所 3階 大会議室

出席者：20名

- 1 開会
- 2 会長挨拶 宝塚市自立支援協議会 会長
- 3 新委員の紹介
- 4 「第一部」

議題 専門部会活動報告結果について

（1）しごと部会

① 上半期の活動「合同事業所説明会」について

- ・障害のある方、または家族の方に対して、より自らのニーズに適した福祉事業所と出会うことのできる場を提供するというコンセプト。
- ・企業向けに情報発信を行い、福祉事業所の存在やビジネスチャンスとしての可能性をアピールする目的もある。

今年度はチラシによる広報活動を更に充実させるべく、従来の配布場所に加えて入院機能を備えた病院等にも周知を行い、一定の成果を挙げた。

② 下半期の活動予定「雇用啓発セミナー」について

障害者の雇用を積極的に行っている企業の方を講師に迎え、実際の現場での取り組みについてお話をいただく。

今年度は宝塚市内の企業に講演依頼を行う方向で調整中。

今後も「合理的配慮」をキーワードとして各種議論を行う予定。

（2）けんり・くらし部会<地域生活Gr>

従来「地域医療Gr」という名の部会であったが、医療に限らない広範囲な議論を行うため、今年度より「地域生活Gr」と名称を改めた。

① 「絵カード」と「受診サポート手帳」について

議論としては一旦終了するが、市役所と自立生活支援センターには引き続き絵カードとサポート手帳を置き、課題や改善点等の意見が寄せられればその都度検討していく。

② 今年度のテーマについて

- ・重度肢体障害者の18歳以降のリハビリについて
- ・精神障害者の保健医療福祉連携推進会議について
- ・知的障害者の高齢化に関わる問題について

- ・身体障害者の医療的ケアについて
- いずれも現状の把握から始め、そこからどのような問題が浮かび上がるのか、どのような方策が有効かを部会で議論する。

(3) けんり・くらし部会<地域移行G r>

地域移行に関する課題の整理

- ・高齢化、重度化に伴って地域移行への希望が薄れるケース、両親が亡くなった後の生活を想像し、移行という選択をしないケースがある。
- ・入院、入所が長期化するほど移行は困難となり、意志を発信することもできなくなる。
- ・移行後の地域の受け入れ態勢（定期的な声掛け、情報や福祉サービスの提供、24 時間支援の態勢作り）

課題に対する解決策（当事者の体験談より）

- ・24 時間対応可能な主治医の存在
- ・あらゆるタイミングでの声掛け（病院が最終的な居場所ではないことを本人に認識してもらい、今後の生活を考えるきっかけを作る。）

今後も地域移行後の暮らしをイメージできるような映像作品の作成等、地域においてどのようなサポートができるかを部会にて検討していく。

(4) こども部会

① 教育と福祉の連携について

学校で出来ること、デイサービスで出来ることは異なることもある。
連携を深め、共通認識を持つことが重要。

② 発達障害者支援の中核機関について

平成24年度に一度市長提言を行い、部会にて求める機能や役割について精査さらに精査した後、再度提言。行政からの回答を待っている状況。

③ 通学保障について

モデルケースから検討を始め、地域ぐるみで通学保障を行うためのフローチャートを作成した。その後の状況把握については不十分な所があり、今後の課題となっている。

④ きょうだい児支援について

昨年度行ったアンケート調査により、きょうだい児支援について一定のニーズがあることが分かった。部会では、先駆的に取り組みを行っている事業所からの情報収集を検討している。

⑤ たからっ子ノートの活用について

見る側としては非常にありがたい存在となっているが、なかなか利用率が伸びていないことが現状。更なる活用促進に向けて今後議論していく。

5 「第二部」

講演『発達障がいのある方への教育的支援の考え方と方法』

みどりトータルヘルス研究所こども行動療育教室

主任 藤田 昌也 氏

6 閉会挨拶 自立支援協議会 副会長